

2022年度 タスクフォース 出願手続検討TF



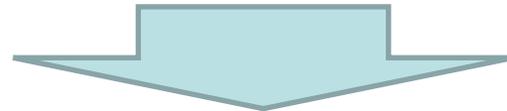
2023年3月9日

出願手続検討TF リーダー
野々山 律男
(電装 (中国) 投資有限公司)

■ 活動目的

参加者自身(参加企業)の中国における専利権(基本は特許メイン)取得のレベル向上

活動テーマ名	中国の実情に適した特許出願手続の研究
具体的課題 (現状認識含む)	・中国拠点に開発機能があり、中国拠点が主導的に特許取得活動をしている企業もある。 中国拠点で特許取得活動は日本本社での特許取得活動をそのまま中国拠点に適用している と考えられ、中国の実情に応じた特許取得活動になっていない可能性がある。そこで 中国の実情に適した特許取得活動が存在しているのか研究 を行う。
課題への対応のための活動内容 (具体的な調査・研究方法)	①参加企業間で現在の自社の特許取得活動の内容を可能な範囲で共有する。 → 出願手続きに限定せず、中間処理も含む意図です ②中国企業の特許出願を多く扱っている代理人を訪問し、特許出願活動において中国企業が代理人とどのようなやり取りをしているのか可能な範囲でヒアリングする。
課題への対応としての成果イメージ	・日系企業と中国企業の特許出願活動の相違点を明確にする。
参加条件 (ある場合のみ)	・正会員のみ ・中国拠点で特許出願手続きを実施している企業が望ましい → 各社の出願手続き等の情報を共有するため



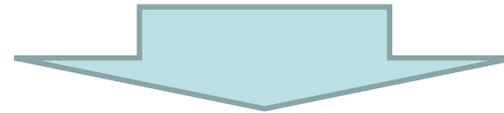
できる範囲でお互いに情報交換を行い、参加者自身の能力向上を図る

→ 各自の能力が向上すれば専利権取得のレベル向上し、各社にも利益がある
 (各社が当たり前と考えている活動内容が他社から見ると重要な情報かもしれない)

■実施状況

参加企業：12社

時期	活動内容
4～7月	・各社の中国での出願手続き等の紹介 → 代理人へのヒアリング前に、参加企業間で情報共有を実施
8～9月	・ヒアリングしたい代理人の選定方法の検討 → 中国企業による中国第1国出願を多く扱っている5代理人にヒアリングすることを決定 ・代理人へのヒアリング内容の検討 → 出願依頼前、出願依頼、中間処理、その他全般分類し、29問のヒアリング事項を決定
10～2月	・5代理人へヒアリングを実施 → 現場開催・オンラインのハイブリッドでヒアリングを実施 ・ヒアリング結果に基づきTF内で議論を実施



■成果

**感覚的にしか分かっていなかった中国企業による出願・中間処理の状況を把握できた
→ 結果に基づき、参加企業がそれぞれ自社の活動にどのように活用するか検討する**